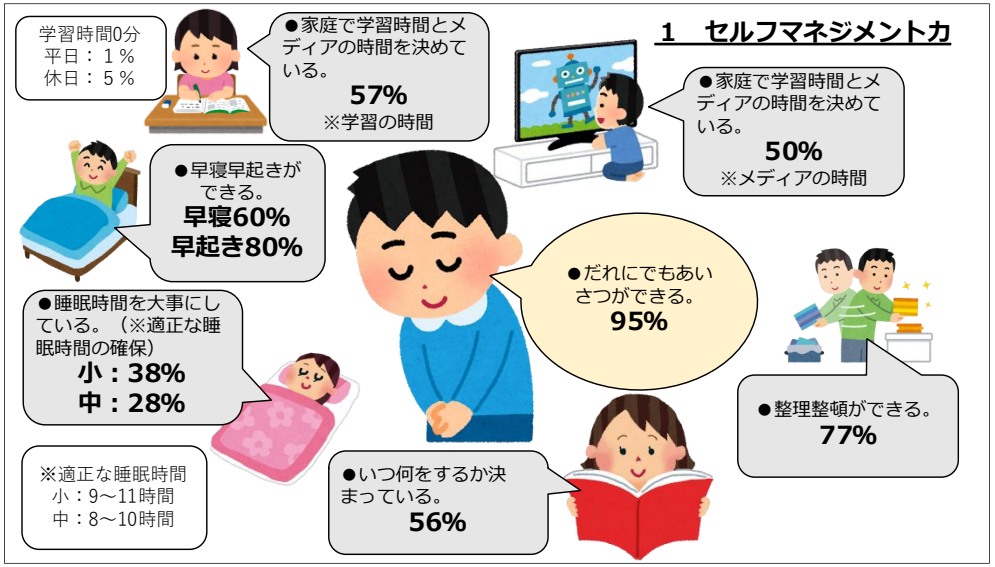
阿賀の子 2023　～阿賀町児童生徒学校・生活調査から～

町内小学３年生から中学３年生を対象に、学校・生活調査を行いました。



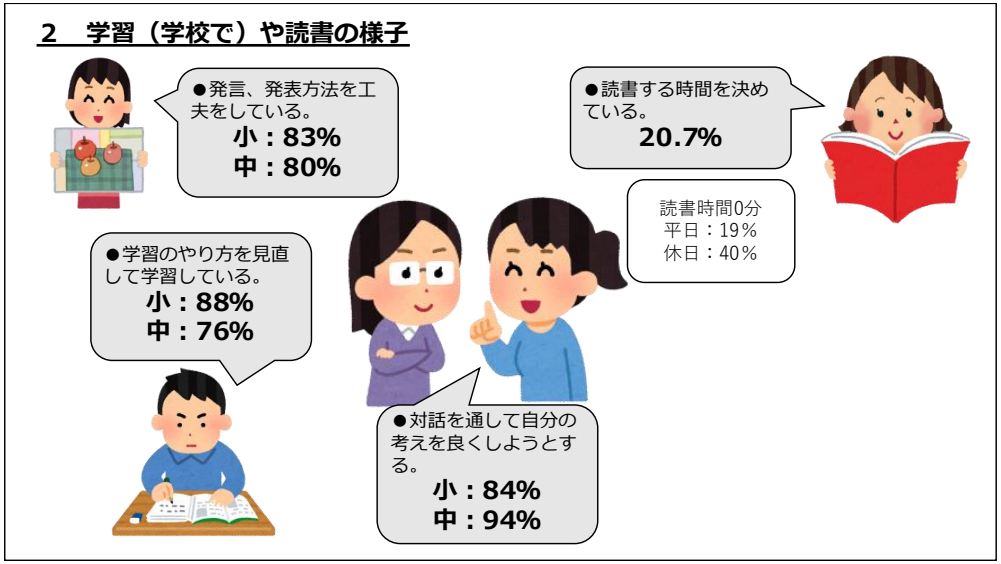
内容は、「自分を管理する力（セルフマネジメント力）」を高めるために大事なことや学習の仕方、読書などに関することです。結果は次のとおりです。（※図中の数字（%）は、肯定的回答をした小中学生併せた割合です。ただし、項目によっては、小中別で表しています。）

「自分を管理する力（セルフマネジメント力）」に関する結果です。

結果から気になることは、「睡眠時間を大事にしている」子どもの割合が低いことです。睡眠は、「からだとこころの健康にとって非常に重要な役割」を果たしています。

【質の良い睡眠を確保するワンポイント】

❶寝る時刻と起きる時刻を毎日一定にする。
❷寝室は暗くして静かにする
（厚生労働省：健康づくりネットより、一部抜粋）



子どもたちは、学校での学習の様子を高く評価しています。学校で積極的に対話活動など位置付けて授業づくりを進めている成果と言えます。

一方、読書習慣は十分満足とは言えない結果となりました。

【読書習慣を身に付けるワンポイント】

❶「ちょい読」のすすめ
・本を読む時間をつくる。
・読むページ数を決める。
❷「家族読書」のすすめ
・家族が一緒に、本を読んだり、図書館や本屋に連れて行ったりする。
・家の中で手に取りやすいところに本を置く。

3　利用メディアとその傾向

メディアと子どもたちの生活は密接です。そのため、メディアとどのようにかかわるか（情報モラル）、メディアをどのように扱うか（情報活用能力）がさらに重要となってきます。

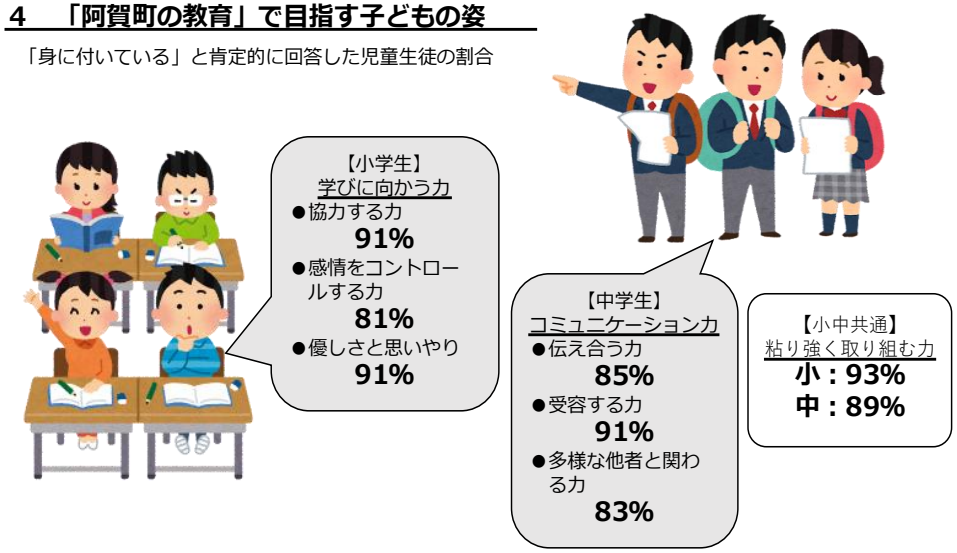
【デジタル・シチズンシップ】

「デジタル技術の利用を通じて、社会に積極的に関わり、参加する能力」のことを指します。（総務省 HP より）

「デジタルネイティブ」と呼ばれる現在の子どもたちが、自ら判断してデジタル社会を安全に行動できる力を育んでいくことが必要となっています。「総務省動画チャンネル」（QR コードから）が参考になります。ぜひ、ご覧ください。

4　「阿賀町の教育」で目指す子どもの姿

「身に付いている」と肯定的に回答した児童生徒の割合



これらの力は、「物事に対する考え方、取り組む姿勢、行動など、日常生活・社会活動において重要な影響を及ぼす」もので、「非認知能力」と言われています。「非認知能力」を育んでいくことも、子どもたちの成長に欠かせません。

【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】

ここで紹介した「非認知能力」は、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として、保育園（幼児期）でも、その育成を大事にしています。「文科省 HP」でご覧いただけます。（QR コード読取り）

「町ぐるみ、みんなで」を合言葉に、阿賀町の子どもを育んでいきましょう。

【お問い合わせ先】　阿賀町教育委員会　阿賀町学習指導センター（☎92-3337）